

大分類.b 新製品開発

中分類	小分類	チェックの方法	レベ	診断結果	判定			備考
					H25	H26	H27	
1開発戦略・組織連携	①開発戦略と資源計画はOKか?	商品戦略作りをしているか	1	開発方針、戦略がなくその場凌ぎの開発に終始している。				
		商品戦略作りは実行出来ているか	2	資源計画とのマッチングをとり、長期の開発方針、戦略を描こうとしているが実行はまだこれから。				
		描いた戦略は挑戦的か	3	資源計画とマッチした中長期の開発戦略を描いているが、挑戦的な計画・戦略とまではなっていない。				
		戦略の挑戦的度合いやその成果はどうか	4	挑戦的な戦略を描き、先行技術開発もしているが、多くのものが出るまでには至っていない。				
		強みを活かした戦略で成果が上っているか	5	上記戦略・先行開発は自社技術の強みを活かしたものとなり、ヒット商品を生んでいる。				
	②マーケティングは的確か	開発と市場のマッチングを考えているか	1	新製品開発は自社のシーズに基づく独りよがりのもとなり、市場とのマッチングを考慮していない。				
		マーケティングで、狙う戦略作りが出来ているか	2	製品のターゲット市場を考慮し、自社シーズとのマッチングを図ろうとしているが、実行はまだこれから。				
		マーケティングを新規性ある商品に繋がっているか	3	ターゲット市場と自社シーズとのマッチングを図っているが、新規性のある製品とまではなっていない。				
		市場の開拓や成果はどうか	4	自社の強みを知った上で市場を開拓する視点もあるが、ヒット商品を生むまでには至っていない。				
		質の良いマーケティングで成果が上っているか	5	世界的競争を視野に入れ、ベンチマーキング等も行いヒット商品に繋がっている。				
	③供給者との連携は良好か	供給者と連携を取ろうとしているか	1	供給者については短期的契約以上の関係が無く技術や品質の情報を把握していない。				
		開発時の情報共有は実行出来ているか	2	供給者選定時はその技術力やQCDを評価し、開発時も情報共有をしようとしているが実行はこれから。				
		開発時の情報共有で両者の連携は活発か	3	開発時も必要情報を共有するが活発なやり取りとまではなっていない。				
		連携の強さや成果はどうか	4	情報を活発に交換して、開発プロセスを重ねさせているが、供給者の力を充分引出すまでにはなっていない。				
		緊密な連携で成果が上っているか	5	両者の間は開発プロセスのオーバーラップに加え、真に共生の関係となっている。				
2開発の計画・実行	④企画は質が良く独創的か	規格はよく検討して策定しているか	1	多くの場合十分な検討が無く思い付き的な企画となっている。				
		特徴ある企画作りを実行出来ているか	2	市場や取引先ニーズを把握の上で特徴ある企画をしようとしているが、実行はまだこれからである。				
		手順により独創的な企画に繋がっているか	3	上記企画作りを手順化し実行しつつあるが、独創的な企画とまではなっていない。				
		工夫による、企画の独創性や成果はどうか	4	上記企画作りの手順に独創アイデアを活かす仕組みを加えているが、ヒット商品を生むまでには至っていない。				
		質の良い企画が成果を上げているか	5	独創的で質の良い企画となり、ワクワク度の高い、ヒット商品に繋がっている。				
	⑤開発効率を考慮した計画か	開発の効率の意識があるか	1	開発効率の意識が無く開発工数も測定していない。				
		工数の把握は実行出来ているか	2	開発効率を意識し、開発工数を測定しようとしているが、実行はまだこれから。				
		工夫により開発方法の変革となっているか	3	フロントローディング等工数の掛け方の計画を工夫しつつあるが、開発方法の変革とまではなっていない。				
		問題前出しで開発の活気や成果はどうか	4	上記工夫に加えて問題点前出し活動の取組も活発だが、開発効率の大幅アップには至っていない。				
		開発効率のアップにより成果が上っているか	5	上記の工夫・取組みを通じて恒常的に開発の仕方を見直し、開発コストも激減している。				
	⑥初期流動管理を短縮しているか	立上り不良低減の工夫をしているか	1	生産立上り後の特別管理が無く、初期不良の発生が長く続く。				
		特別管理期間の設定は実行出来ているか	2	初期流動管理期間を設定しようとしているが、実行はまだこれから。				
		立上り管理の取組は活発か	3	初期流動品管理を実施しつつあるが、活発な取組みとまではなっていない。				
		立上り管理活動の活気や成果はどうか	4	立上り不良の早期対策活動に活発に取組んでいるが、初期流動管理短縮までには至っていない。				
		特別管理により成果が上がっているか	5	対策は極力次元モデルでの源流管理に繋げ、初期流動管理期間の短縮と品質ロスの低減を果たしている。				

3開発 ツールの 活用	⑦CAEの 活用度は 高いか	CAEの必要性の認識があ5か	1	CADやCAM等のCAEの導入をしておらず必要性の認識が無い。				
		CAEの導入は実行出来ているか	2	必要度の高いところにCAD/CAM等CAEを導入しようとしているが、実施はまだこれから。				
		CAE導入で開発は活発に機能しているか	3	CAEを導入しつつあるが、開発部隊の活性化とまではなっていない。				
		CAE導入で開発の活気や成果はどうか	4	CAEの活用が拡がり開発部隊は活気づいているが、設計の大幅スピードアップとまではなっていない。				
		CAEの進展で成果が上っているか	5	CADやシミュレーションへのノウハウ注入が進み、試作回数削減等劇的効果が出つつある。				
	⑧技術 データ管 理は高レ ベルか	データ再利用の工夫をしているか	1	技術データは紙ベースであり、図面の書き方等も人によって異なるし、その再活用が出来ていない。				
		データの一元管理は実行出来ているか	2	データのデジタル化と一元管理をしようとしているが、実行はこれから。				
		導入した一元管理で利用状況は活発か	3	データのデジタル化と一元管理を導入したが活発な利用とまではなっていない。				
		質の良い管理で開発の活気や成果はどうか	4	データのデジタル化と一元管理が進み活発な利用状況だが、高レベルとまではなっていない。				
		PDMの機能で成果が上っているか	5	PDMとしての機能が整い、激しい技術の変化に対応出来ている。				
	⑨オー プンなデ ータ交換 は可能か	データ交換の工夫をしているか	1	共同開発のパートナーとの間で図面の標準化等が出来ていない。				
		共有化への取組は実行出来ているか	2	パートナーとの情報共有の為の標準化・共通化をしようとしているが、実行はまだこれから。				
		データ交換の状況は活発か	3	デジタルでのデータ交換を進めつつあるが個別の専用標準となっており、活発な交換に至っていない。				
		オープン標準で、開発の活気や成果はどうか	4	インターネットの活用やオープン標準による交換も始めたが、まだ大きな効果には至っていない。				
		系列を超えた取組で成果が上っているか	5	機密も考慮したオープン標準を採用し、系列を超えた活発な交換が出来つつある。				